

# Raul Perez

ラウル・ペレス Bio



D.O.ビエルソを一躍世界の注目産地へと引き上げた立役者ラウル・ペレス。伝統を重んじつつも自身の直感に従った柔軟なワイン造りにより今や世界で最もエキサイティングなワインメーカーの1人と評されている。メンシアというマイナー品種で一大ムーブメントを起こした“生きる伝説”。

ローマ時代から長いワイン造りの歴史を誇り、中世にはサンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路が通る地域としてワイン文化が発展したD.O.ビエルソ。カステリャ・イ・レオンの北西端、ガルシアとの州境の山間部の盆地に位置し、周囲を高い山に囲まれているためスペイン内陸と比べると温暖湿潤な気候が特徴だ。スペインの他のマイナー産地と同じく、長らくワイン造りの近代化から取り残されていた過去を持つが、1989年のD.O.昇格を経て、2000年以降は新進気鋭の生産者達がメンシアから高品質な赤ワインを競うように生産するようになると、一躍世界の注目を集める産地へと成長した。



メンシアの品質を一気に押し上げた先駆者としてまず挙げられるのが、“レルミタ”で有名なプリオラートのアルバロ・バラシオスとその甥のリカルド・バラシオス。濃厚なワインが流行していた1990年代後半、ビエルソのポテンシャルに注目した彼らがメンシアで造り上げたフレッシュで繊細な赤ワインは、瞬く間に世界の注目を集めた。そして、もう1人の立役者がバルトウエイ・デ・アバホ村を拠点とするラウル・ペレスだ。アルバロ・バラシオスのワインに大きな影響を受けた彼は、伝統を重んじつつも自身の直感に従いルールに縛られない柔軟なワイン造りを続け、今や世界で最もエキサイティングなワインメーカーの1人と評されている。

1752年からブドウ栽培の歴史を持つ家系に生まれたラウルは、バレンシアの醸造学校で学んだ後、実家であるボデガ・カストロ・ベントーサに参画。衛生管理の向上に加え、単一区画という概念を導入し、少量生産に方向転換を行った。よりクリーンなブドウを収穫する為の改革も速やかに行い、メンシアの古木を持つ高いポテンシャルを余すことなく表現するための礎を築いた。

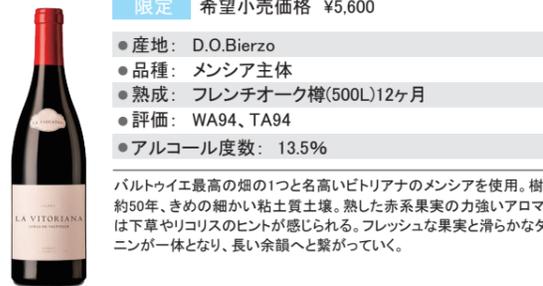
そして2007年には自身のドメーンとなるボデガス・イ・ビニエドス・ラウル・ペレスを設立。彼のポートフォリオの中心を担うのが「ウルトレイア」と「ラ・ビスカイナ・デ・ビノス」と名づけられた2つのプロジェクト。ウルトレイアはより造り手の個性が反映されたワインで、故郷であるバルトウエイ・デ・アバホ村の複数の区画から収穫されたブドウで造られる。対する「ラ・ビスカイナ」はテロワールの表現に重きを置き、ワイン名は其々の単一畑名を示している。

ブドウ栽培及び醸造は「自然をリスペクトし、ブドウに与える影響を最小限にする」という理念の下に行われる。畑は馬を使って耕し、土壌と高樹齢のブドウの樹をケアすることに細心の注意を払う。醸造では各区画の個性がワインの中で余すことなく発揮されるよう、最低限のSO2を除き一切の添加物は使用せず、オークのニュアンスがワインを覆わないよう新樽の使用を控えている。「欠陥のあるワインは失敗作だ」と語るラウルのワインは、正確性と透明感を持つ、調和の取れたクリーンなスタイルだ。

自身の名義のドメーンを設立してから間もない2008年、Wine Advocate誌は「私が試飲したこれらのワインは言葉では言い表せないほど素晴らしい、職人的だ。信じられないなら実際に体験すべきだ」と絶賛。以降も「ラウル・ペレスはスペインで最も明確なビジョンを持つヴィンヤードだ。今回試飲したヴィンテージはその伝説を更に強固なものにしている」等、毎年惜しみない賛辞を贈っている。Decanter誌は「世界最高のワインメーカーの1人であり、最高の才能を持つ革新者」という言葉とともに彼を紹介しており、Pedro Ballesteros Torres MWIは2019年に「ペレスはまだ若く、キャリアとして恐らくまだ絶頂期に達していないが、既に多くの人々の心や記憶に刻まれる比類なきアイデンティティを持つワインを生み出している」と記した。

メンシアという当時マイナーだった土着品種で世界に衝撃を与え、一大ムーブメントを起こした稀代の天才醸造家は、その確固たる地位に甘んじることなく更なる進化を遂げており、これからも追いつける価値がある生産者であり続ける。

## ラ・ビスカイナ ラ・ビトリアナ 2022 La Vizcaina La Vitoriana

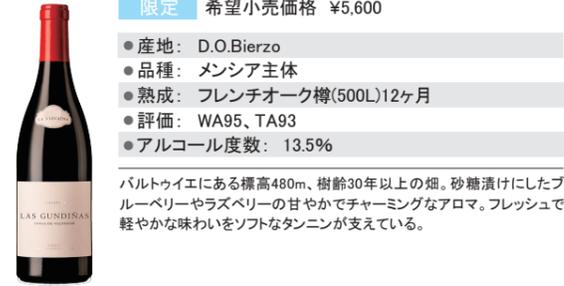


限定 希望小売価格 ¥5,600

- 産地: D.O.Bierzo
- 品種: メンシア主体
- 熟成: フレンチオーク樽(500L)12ヶ月
- 評価: WA94、TA94
- アルコール度数: 13.5%

バルトウエイ最高の畑の1つと名高いビトリアナのメンシアを使用。樹齢約50年、きめの細かい粘土質土壌。熟した赤系果実の力強いアロマには下草やリコリスのヒントが感じられる。フレッシュな果実と滑らかなタンニンが一体となり、長い余韻へと繋がっていく。

## ラ・ビスカイナ ラス・グンディナス 2022 La Vizcaina Las Gundinas

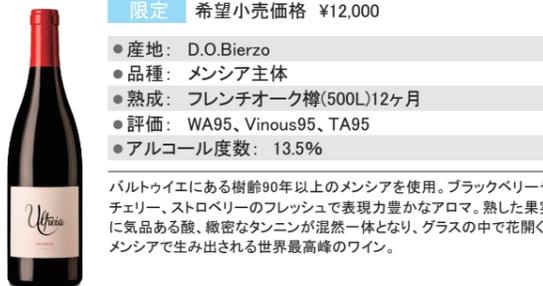


限定 希望小売価格 ¥5,600

- 産地: D.O.Bierzo
- 品種: メンシア主体
- 熟成: フレンチオーク樽(500L)12ヶ月
- 評価: WA95、TA93
- アルコール度数: 13.5%

バルトウエイにある標高480m、樹齢30年以上の畑。砂糖漬けにしたブルーベリーやラズベリーの甘やかでチャーミングなアロマ。フレッシュで軽やかな味わいをソフトなタンニンが支えている。

## ウルトレイア ヴァルトウエイ 2022 Ultreia Valtuille

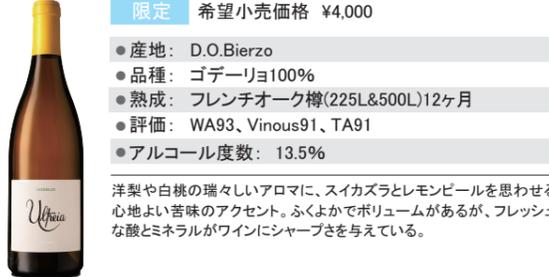


限定 希望小売価格 ¥12,000

- 産地: D.O.Bierzo
- 品種: メンシア主体
- 熟成: フレンチオーク樽(500L)12ヶ月
- 評価: WA95、Vinous95、TA95
- アルコール度数: 13.5%

バルトウエイにある樹齢90年以上のメンシアを使用。ブラックベリーやチェリー、ストロベリーのフレッシュで表現力豊かなアロマ。熟した果実に気品ある酸、緻密なタンニンが混然一体となり、グラスの中で花開く。メンシアで生み出される世界最高峰のワイン。

## ウルトレイア ゴデーリョ 2022 Ultreia Godello

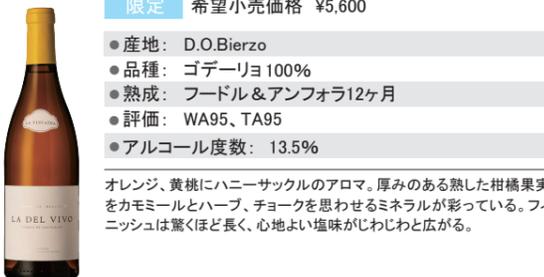


限定 希望小売価格 ¥4,000

- 産地: D.O.Bierzo
- 品種: ゴデーリョ100%
- 熟成: フレンチオーク樽(225L&500L)12ヶ月
- 評価: WA93、Vinous91、TA91
- アルコール度数: 13.5%

洋梨や白桃の瑞々しいアロマに、スイカズラとレモンピールを思わせる心地よい苦味のアクセント。ふくよかでボリュームがあるが、フレッシュな酸とミネラルがワインにシャープさを与えている。

## ラ・ビスカイナ ラ・デル・ビボ 2022 La Vizcaina La del Vivo

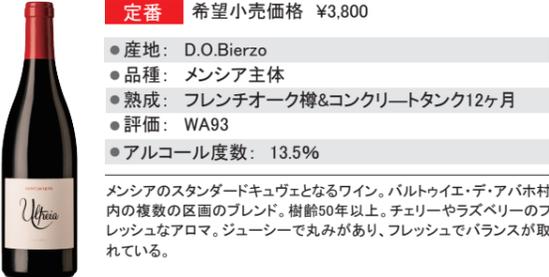


限定 希望小売価格 ¥5,600

- 産地: D.O.Bierzo
- 品種: ゴデーリョ100%
- 熟成: フードル&アンフォラ12ヶ月
- 評価: WA95、TA95
- アルコール度数: 13.5%

オレンジ、黄桃にハニーサックルのアロマ。厚みのある熟した柑橘果実をカモミールとハーブ、チョークを思わせるミネラルが彩っている。フィニッシュは驚くほど長く、心地よい塩味がじわじわと広がる。

## ウルトレイア サン・ジャック 2022 Ultreia Saint Jacques

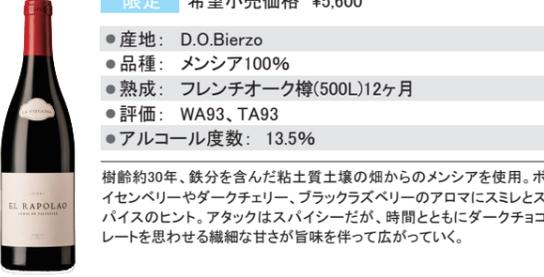


定番 希望小売価格 ¥3,800

- 産地: D.O.Bierzo
- 品種: メンシア主体
- 熟成: フレンチオーク樽&コンクリートタンク12ヶ月
- 評価: WA93
- アルコール度数: 13.5%

メンシアのスタンダードキュヴェとなるワイン。バルトウエイ・デ・アバホ村内の複数の区画のブレンド。樹齢50年以上、チェリーやラズベリーのフレッシュなアロマ。ジュースで丸みがあり、フレッシュでバランスが取れている。

## ラ・ビスカイナ エル・ラポラオ 2022 La Vizcaina El Rapalao



限定 希望小売価格 ¥5,600

- 産地: D.O.Bierzo
- 品種: メンシア100%
- 熟成: フレンチオーク樽(500L)12ヶ月
- 評価: WA93、TA93
- アルコール度数: 13.5%

樹齢約30年、鉄分を含んだ粘土質土壌の畑からのメンシアを使用。ポイセンベリーやダークチェリー、ブラックラズベリーのアロマにスミレとスパイスのヒント。アタックはスパイシーだが、時間とともにダークチョコレートと思わせる繊細な甘さが旨味を伴って広がっていく。